

## 川越市空家等対策計画の進捗について

平成 30 年 7 月に策定した「川越市空家等対策計画」（平成 30 年度～令和 4 年度）の進捗状況は以下の通りです。

### 1 第 2 節 空家等対策にかかる具体的な施策・取組の進捗

令和 4 年度末時点において、

- 1.発生予防のための施策（10 施策のうち、10 施策を実施）《実施率 100%》
- 2.適切な管理のための施策（24 施策のうち、21 施策を実施）《実施率 約 88%》
- 3.活用のための施策（16 施策のうち、12 施策を実施）《実施率 75%》

発生予防の施策については計画通り進捗した。

適切な管理の施策については、市内での連携体制は取れているが、関連団体との連携や国庫補助金の活用等について検討段階に留まった。

活用の施策についても、関連団体との連携方法について検討に留まり、空き家バンクの登録が進まなかったため活用希望者・団体とのマッチング等の施策が進捗しなかった。

### 2 第 5 節 空家等対策の達成目標の進捗

#### 1.空家等の発生予防

○アンケート調査による「特に考えていない」の割合

**9.2%**（平成 28 年度実態調査結果）→**13.2%**【目標 5%】

#### 2.空家等の適切な管理の促進

○空家等について寄せられた相談の解決率

**63%**（平成 28 年度）→ **70.4%**（令和 3 年度）【目標 70%】

○保安上の危険がある空き家の「B:注意」「C:危険」の割合

**27.6%**（平成 28 年度実態調査結果）→**67.8%**【目標 25%】

○周辺生活環境保全に対する影響の「B:注意」「C:危険」の割合

**27.6%**（平成 28 年度実態調査結果）→**38.6%**【目標 25%】

#### 3.空家等の活用の促進

○空き家バンクの登録件数

（空き家バンク制度未設置） → **累計 1 件**【目標累計 30 件】

達成目標の 5 つの指標のうち、目標を達成したものは「相談の解決率」のみであった。しかし、令和 3 年度の実態調査によると本市の空家等の数は減少していることから、状態の良い空家等の流通が進み、管理状態の悪い空家等が地域に残っている可能性が考えられる。また、人口流入のある本市では住宅購入ニーズがあり、民間の不動産流通が滞っていないことが空き家バンクの登録件数が伸びなかった原因の一つと考えられる。